

Europe Indicators

発表日: 2020年7月31日(金)

欧州経済指標コメント: 4-6月期ユーロ圏GDP速報

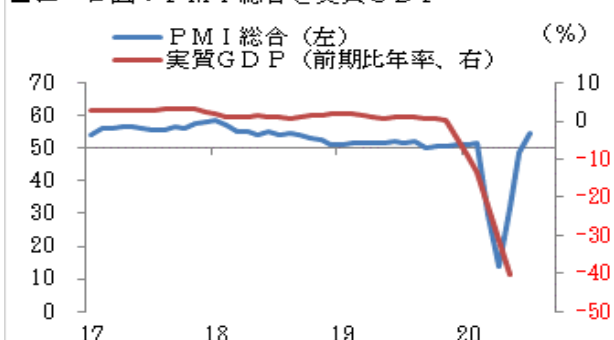
～感染再拡大でV字回復に黄信号～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

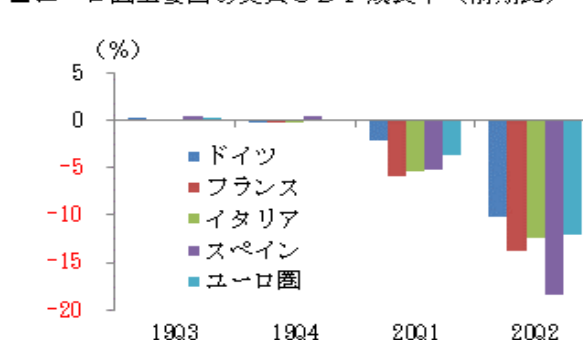
首席エコノミスト 田中 理 (Tel: 03-5221-4527)

- 4-6月期のユーロ圏の実質GDP成長率の速報値は前期比▲12.1%、同年率▲40.3%と史上最大の落ち込みを記録した。1-3月期と合わせた累積の下落率は▲15.3%と、リーマンショック(2008年4-6月期～2009年1-3月期の4四半期連続マイナス成長)時の▲5.7%を遥かに上回る。既報の国別計数は、ドイツ(同▲10.1%)、フランス(同▲13.8%)、スペイン(同▲18.5%)、イタリア(同▲12.4%)、ベルギー(同▲12.2%)、オーストリア(同▲10.7%)が揃って2桁の落ち込み。前年同期比のみ発表のリトアニア(▲3.8%)も大幅マイナス。
- 需要項目別の内訳が公表済みのフランスは、在庫投資が成長率の押し上げに働いたものの、個人消費、政府消費、総固定資本形成、輸出、輸入が揃って前期を上回る大幅なマイナス。ドイツとスペインは、政府消費が増加したものの、個人消費、設備投資、輸出、輸入が軒並み大幅減。3・4月にかけて経済活動を全面停止した影響が4-6月期の計数に色濃く現れた形。
- 5月以降の各国での段階的な都市封鎖の解除を受け、5・6月にかけての月次指標は大きく反発している。ここにきて欧州でも一部の国や地域で感染者が再拡大しているが、今のところ各国は的を絞った対応にとどめている。このまま全面的な都市封鎖を再開しなければ、7-9月期の景気はプラス成長へ復帰する公算が大きいが、感染再拡大への警戒から需要回復は限定的とみられる。

■ユーロ圏: PMI総合と実質GDP



■ユーロ圏主要国の実質GDP成長率(前期比)



出所: IHS Markit, Eurostat

出所: Eurostat

■ユーロ圏GDP(前期比年率<%>、括弧内は寄与度<%ポイント>)

	名目GDP	実質GDP	内需				外需			
			個人消費	政府支出	固定資本投資	在庫	輸出	輸入		
18/7-9月期	2.1	0.8	(1.8)	0.4	▲0.1	6.2	(0.4)	▲1.1	1.0	3.5
18/10-12月期	3.6	1.7	(4.2)	1.6	2.1	11.9	(0.7)	▲2.5	4.1	10.7
19/1-3月期	4.0	2.0	(▲1.5)	2.2	2.2	1.7	(▲3.4)	3.4	4.2	▲3.0
19/4-6月期	2.4	0.8	(6.7)	0.8	2.0	2.9	(5.5)	▲5.9	▲0.0	14.1
19/7-9月期	2.5	1.1	(▲4.4)	1.7	2.5	▲1.1	(▲5.4)	5.5	2.9	▲8.4
19/10-12月期	2.5	0.1	(4.2)	0.5	1.0	14.0	(0.9)	▲4.0	0.5	10.0
20/1-3月期	▲11.8	▲13.6	(▲12.1)	▲17.1	▲1.7	▲7.0	(▲1.1)	▲1.5	▲15.4	▲13.6
20/4-6月期	-	▲40.3	-	-	-	-	-	-	-	-

出所: Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。